

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 : グループホーム慎太郎

作成日 平成22年 5月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	20	ADLの低下や家族さんが県外（遠方）に在住されている入居者の外出機会が少なくなりがちである為、家族さんの協力を得、職員の支援で外出の機会を増やしていく。	アウトドアに適した季節の外出機会を生かす。（4月～6月・9月～11月） 日常生活動作での下肢筋力維持又はアップを図る。	介護計画に外出支援を取り入れ援助を実施する。 家族さんに理解を得、入居者の友人や馴染みの場所などお聞きし外出の機会を増やしていく。	1年間 (12ヶ月)
2	41	水分摂取量が十分で無い入居者がおられる。	1日の水分摂取量の目安を1500～1800ccとする。 水分補給実施にて認知症予防や自然排便など体調管理とする。	特に水分量の少ない入居者を把握し、個人の嗜好に応じた飲料水などを提供するなど工夫をする。 水分摂取量を記録し摂取量を把握すると同時に体調の観察を行っていく。	3ヶ月
3	26	認知症高齢者の問題点を取り上げた介護計画では無く、入居者のできることを引き延ばす介護計画の作成と支援法とする。	・認知症状の予防。 ・残存機能の維持。 ・精神面での安定を図る。	入居者個々の能力を把握し個人に応じた役割分担の提供に努める。 好きなこと、得意なことを楽しく安全に実施して頂ける環境づくりへの取り組み。	3～6ヶ月 (随時)
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。